

校長室だより

1月

京都市立音羽小学校
校長 藤村 徹

学校教育目標

ひとりひとりが みんなと共に 個性豊かに たくましく生きる子どもの育成

目指す子ども像

- ① 自他を大切にすること
- ② 自分の可能性にチャレンジすること
- ③ 自ら学ぶこと

新年あけましておめでとうございます！

平成18年が始まりました。今年も音羽小学校教育にご協力ご支援よろしくお願いたします。

さて、大文字駅伝予選会では、Aチームが3位入賞を果たし、2月12日に行われる大文字駅伝に出場が決まりました。激しい競争の中、最後まであきらめず、タスキをつなぎました。Bチームも10位と健闘し2チームとも予想を超えるタイムで走りきりました。応援もすばらしく6年生全員の勝利だと思います。この力を生かして本戦でも全力で走ります。

また、5年生も1月から、体力づくりや陸上記録会・駅伝予選会に向けて朝のランニングを開始します。ともすれば、子どもはしんどいことにチャレンジせず、楽をしようとする傾向にあります。自分に合ったペースでかつ継続して仲間と走り続けることは、たくましい体や心を鍛えることにつながります。

6年生同様にご理解・ご支援をお願いいたします。



向出佳司先生の講演会から

12月のPTA指導者研修会で向出佳司先生(大阪教育大学大学院教授)の講演を聴く機会をえました。子どもの命が失われるという社会状況の中で、私たちが「子育て」について見落としてはならないいくつかの視点(キーワード)を示唆していただきました。

- 1 親子のコミュニケーション
- 2 ほめられた経験
- 3 ゲーム脳(学校長便り8月をご覧ください)
- 4 社会的絆



私たち大人は、子どものおかれている環境を見つめているでしょうか。今、家庭だけ見ては子育てはできません。子どもたちを取り巻く社会の変化は想像を超えています。まずは、互いを認め合う親子のコミュニケーションが何よりも大切です。(心の声を)聴く・(いろんな角度から)観る・(私は～思うと)語ることを心がけたいものです。